
平成 28 年度
福岡市高齢者実態調査
報告書

平成 29 年 3 月
福岡市 保健福祉局

< 目 次 >

I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 回収の結果	1
4. 資料の見方	2

II 調査結果

第1章 高齢者一般調査共通設問

1. 回答者の属性	3
(1) 調査の回答者	3
(2) 性別	5
(3) 年齢	5
(4) 居住地区	7
(5) 家族の状況	7
① 世帯構成	7
② 行き来がある親族のいる場所	10
(6) 世帯年間総収入額	11
(7) 要介護度	13

第2章 高齢者一般調査A

1. 日常生活について	15
(1) 日常の買い物場所までの徒歩での時間	15
(2) 外出	16
① 外出状況	16
② 外出パターン	17
③ 外出しない理由	18
④ 近所にできれば外出したいと思う場所	19
(3) 自動車運転免許の保有状況	20
(4) 外出の際に困っていること	21
(5) バス停や駅までの時間	22
(6) 心配ごとや悩みごとの相談相手	23
(7) 近所付き合い	24
(8) 孤立死	26
① 孤立死する可能性	26
② 孤立死する可能性がある理由	27
(9) 孤立死防止策	28
(10) 「ご近所の見守り」活動の参加状況	29

(11) 地域福祉活動の参加状況	30
(12) 災害時や緊急時における一人での避難	31
(13) 災害時に手助けを頼める人の有無	33
(14) 災害時の心配事や問題点	34
(15) 保健・医療・福祉の情報源	36
2. 生きがい・社会活動	38
(1) ボランティア活動	38
① ボランティア活動の有無	38
② ボランティア活動への参加頻度	39
③ 1回当たりの参加時間	40
④ ボランティア活動を行っている場所	40
⑤ ボランティア活動の内容	41
⑥ 「高齢者を支援する活動」の内容	42
⑦ ボランティア活動への参加意向	43
⑧ ボランティア活動に参加する条件	44
⑨ ボランティア活動への参加希望頻度	45
⑩ 1回当たりの参加希望時間	45
⑪ ボランティア活動を行いたい場所	46
⑫ 参加したいボランティア活動	47
⑬ 参加したい「高齢者を支援する活動」の内容	48
⑭ ボランティア活動に参加したくない理由	49
(2) ボランティア活動が活発に行われるために必要なこと	50
(3) 生きがい	51
① 生きがいを感じること	51
② 地域活動を行うために必要なこと	53
(4) 老人クラブ活動に参加していない理由	54
(5) 参加したい地域団体・活動の内容	56
(6) 日々の過ごし方	58

第3章 高齢者一般調査B

1. 現在のお住まい	59
(1) 居住の状況	59
① 住居形態	59
② 住まいの1か月の家賃	61
(2) 住まいの利便性	62
① 住まいに困っていること	62
② 住まいの利便性について	64
③ 住まいのバリアフリー化への意向	65
(3) 住み替え	66
① 現在の住まいを終の棲家と考えているか	66
② 住み替え時に重視すること	67

(4) 住み替えで困ったこと	68
2. 健康	69
(1) 健康状態	69
(2) 歯科の定期健診の有無	71
(3) 歯の本数	72
(4) 咀嚼の状況	73
(5) 入れ歯・ブリッジの使用状況	74
(6) 口腔の健康状態	75
(7) 歯みがきの頻度	76
(8) 歯間部清掃用器具の使用状況	77
(9) 運動	78
① 運動習慣	78
② 運動の頻度	79
③ 運動に取り組むきっかけ	80
④ 運動をしていない理由	81
(10) 健康づくり習慣	82
① 運動以外の健康づくり習慣	82
② 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ	84
(11) 介護予防として福岡市に力を入れてほしいこと	85
(12) 認知症	86
① 認知症への不安	86
② 認知症についての相談の有無	88
③ 認知症についての相談先	89
(13) 認知症に関して知りたい内容	90
(14) 認知症対策として充実してほしいこと	91
(15) 「福岡市は認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるまち」であるか ..	92
3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について	93
(1) いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）	93
① いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度	93
② いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知媒体	95
③ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の業務内容の認知度	96
④ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談した経験の有無	96
⑤ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談した際の満足度	97
⑥ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したことがない理由	97
(2) いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したい内容	98
4. 医療について	99
(1) かかりつけ医の有無	99
(2) 在宅医療への関心	100
(3) 訪問診療の利用の有無	101
(4) 在宅医療の希望	102

① 在宅医療の希望・実現可能性	102
② 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由.....	103
(5) 最期を迎えたい場所	104
5. これから介護について	105
(1) 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか.....	105
(2) 今後の介護意向	106
(3) 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策.....	108
(4) サービスの利用状況・利用意向	110
(5) サービスの満足度	111
1 サービスの満足度	111
第4章 介護サービス調査共通設問	
1. 回答者の属性	112
(1) 調査の回答者	112
(2) 性別	113
(3) 年齢	114
(4) 居住地区	116
(5) 家族の状況	116
① 世帯構成	116
② 行き来がある親族のいる場所	117
(6) 世帯年間総収入額	118
(7) 要介護度	119
(8) 現在の傷病	120
(9) 家族・親族からの介護の状況	122
2. 日常生活について	123
(1) 住居形態	123
(2) 住まいに困っていること	124
(3) 施設入所・入居の検討状況	125
(4) 現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス.....	126
(5) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	127
3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について.....	128
(1) いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）	128
① いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度.....	128
② いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知媒体.....	129
③ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の業務内容の認知度.....	130
④ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談した経験の有無.....	131
⑤ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談した際の満足度.....	133
⑥ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したことがない理由....	134
(2) いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したい内容.....	135
4. 医療について	136
(1) かかりつけ医の有無	136

(2) 在宅医療への関心	137
(3) 訪問診療の利用の有無	138
(4) 在宅医療の希望	140
① 在宅医療の希望・実現可能性	140
② 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由.....	141
5. 今後の介護・医療について	142
(1) 最期を迎える場合	142
(2) 単身者となった場合に希望する「見守り」の内容.....	143
(3) 近隣住民の訪問による「見守り」の希望回数.....	144
6. 介護保険制度全般について	145
(1) 介護保険制度全体の満足度	145
(2) 介護保険制度で不満に思うこと	146
(3) 介護保険制度でわかりにくいこと	147
(4) 介護サービス事業者を選ぶ際に重視すること.....	148
(5) 介護サービス事業者の情報の入手媒体	149
(6) 介護や福祉サービスについての相談先	150
7. 家族の状況について	151
(1) 主な介護者	151
(2) 主な介護者の性別	152
(3) 主な介護者の同居状況	153
(4) 主な介護者の年齢	154
(5) 介護離職の状況	155
(6) 主な介護者の勤務状況	156
① 主な介護者の勤務形態	156
② 主な介護者の介護に伴う勤務調整の状況.....	157
③ 仕事と介護の両立に効果がある勤務先の支援の内容.....	160
④ 主な介護者の仕事と介護の両立の継続可能性.....	162
(7) 主な介護者の健康状態	163
(8) 主な介護者の介護期間	165
(9) 主な介護者の一日平均の介護時間	166
(10) 介護についての相談先	167
(11) 主な介護者が行っている介護の内容	168
(12) 現在の生活を継続するために主な介護者が不安に感じる介護の内容.....	171
(13) 介護する気持ち	174
(14) 今後の介護の仕方	176
(15) 在宅で介護を続けるために必要性が高いサービスの内容.....	177
(16) 在宅で介護を続けるために必要な支援の内容.....	178
(17) 高齢者虐待について見聞きした内容	179
(18) 高齢者虐待の通報義務の認知度	180
(19) 「家族介護者応援メールマガジン」の認知度.....	181

(20) 介護家族への情報提供としてのメールマガジンの有効性.....	182
(21) 「働く人の介護サポートセンター」の認知度.....	183
第5章 介護保険在宅サービス利用者調査	
1. 現在利用している介護保険サービスについて.....	184
(1) サービス提供事業者や医療機関の相互連携の認否.....	184
(2) 平成28年8月の介護保険サービスの利用状況.....	185
① 平成28年8月の介護保険サービス利用の有無.....	185
② 平成28年8月の介護保険サービスの利用状況.....	186
③ 介護保険サービスの内容の満足度	188
(3) 1か月あたりの利用料金	189
(4) 利用額上限までの利用	190
① 利用額上限までの利用の有無	190
② 利用額の上限まで利用していない理由.....	190
2. 今後の介護・医療について	191
(1) 今後、どのように介護を受けたいか	191
(2) 在宅生活で必要性が高いサービス	192
3. 現在の高齢者サービスについて	193
(1) サービスの利用状況・利用意向	193
(2) サービスの満足度	194
4. 家族の状況について	195
(1) 介護保険サービスを利用する上で困っていること.....	195
第6章 介護保険在宅サービス未利用者調査	
1. 日常生活について	196
(1) 日常生活の支援者	196
(2) 日常の買い物の頻度	198
(3) 日常の買い物で困っていることの有無	198
2. 介護保険サービスについて	199
(1) 介護保険の在宅サービスの利用状況	199
① 介護保険の在宅サービスの利用経験	199
② 介護保険の在宅サービスを利用していない理由.....	200
(2) 今後利用したい介護保険の在宅サービス.....	201
(3) 在宅で生活する上で困っていること	202
(4) 今後の介護サービスの利用意向	203
3. 現在の高齢者サービスについて	204
(1) サービスの利用状況・利用意向	204
(2) サービスの満足度	205
第7章 介護保険施設等サービス利用者調査	
1. 回答者の属性	206
(1) 施設の種類	206
(2) 日頃係わりのある親族のいる場所	207

(3) 施設入居前の居住状況	208
(4) 施設入居前の在宅サービス利用状況	209
(5) 施設等を希望した理由	210
2. 利用している介護保険施設・グループホームについて.....	211
(1) 利用者負担段階	211
(2) 利用者負担額	212
(3) 利用料金の負担者	213
(4) 現在の負担額をどう思うか	214
(5) 利用料金とサービスとの関係性	216
(6) 施設外の医療サービスの利用状況	217
1 施設外の医療サービスの利用頻度	217
(7) 施設等を選ぶときに重視する点	218
(8) 施設の情報の入手手段	220
(9) 現在の施設の満足度	221
1 現在の施設の満足度	221
2 現在の施設に充実してほしいこと	222

第8章 介護支援専門員調査

1. 回答者の属性	223
(1) 性別	223
(2) 年齢	223
(3) 介護支援専門員の経験年数	224
(4) 介護支援専門員としての経験事業所	225
① 介護支援専門員としての経験事業所数	225
② 現在勤務している事業所に移った理由	225
(5) 介護支援専門員以外に取得している資格	226
(6) 勤務状況	227
① 勤務形態	227
② 兼務内容	227
③ 従事時間	228
(7) 事業所の法人種別	229
(8) 事業所の介護支援専門員数	229
2. ケアマネジメントについて	230
(1) 給付管理件数	230
(2) 保険外サービスを組み合わせたケアプラン	231
① 保険外サービスを組み合わせたケアプランの有無	231
② ケアプランで組み合わせた保険外サービスの種類	232
③ ケアプランで組み合わせたボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービスの内容	233
④ 今後充実が必要な保険外サービスの種類	234
⑤ 今後充実が必要なボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービスの内容	235

(3) 介護サービス受給者に必要な「見守り」サービス.....	236
(4) 充実が必要な「見守り」サービス	237
(5) 不足している認知症患者の支援体制	238
(6) 在宅での生活が困難なケース	239
① 在宅での生活が困難なケースの有無	239
② 在宅での生活が困難なケースの内容	240
(7) 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験.....	241
① 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けた経験の有無.....	241
② 小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがない理由.....	242
(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験.....	243
① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けた経験.....	243
② 定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがない理由.....	244
(9) 計画作成で利用しにくいサービス	245
(10) 計画作成で過剰なサービス	246
(11) 計画作成で不足しているサービス	247
(12) 情報収集や連絡・調整の方法	248
(13) 医療機関からの情報収集の方法	249
(14) 自立につながる支援が出来たケアプランの割合.....	250
(15) 計画作成での相談相手	251
(16) 計画作成での相談内容	252
(17) 計画作成の際に重視していること	253
(18) 事業所紹介の際に重視していること	254
3. 他機関との連携について	255
(1) 主治医との連携	255
① 主治医との連絡・報告の状況	255
② 主治医との連携で苦慮していること	255
③ 主治医に連絡・報告を行っていない理由.....	256
(2) 主治医・サービス事業所以外に利用者に関して連絡を取っている相手.....	257
(3) 地域包括支援センター・区役所などと連携する状況.....	258
(4) 地域ケア会議	259
① 地域ケア会議への参加	259
② 地域ケア会議の効果	259
4. 処遇困難事例などへの対応について	260
(1) 処遇困難事例の対応	260
(2) 高齢者虐待事例の状況	261
① 高齢者虐待事例の有無	261
② 高齢者虐待事例の内容	262
③ 高齢者虐待事例への対応	262
5. 資質向上の取り組みについて	263
(1) 業務のレベルアップのために行っている取り組み.....	263

(2) 今後行いたい取り組み	264
6. 行政の役割について	265
(1) 行政に期待する役割	265
(2) 不足しているサービス	266

III 調査票

1 高齢者一般調査A	267
2 高齢者一般調査B	274
3 介護保険在宅サービス利用者調査	282
4 介護保険在宅サービス未利用者調査	293
5 介護保険施設等サービス利用者調査	303
6 介護支援専門員調査	307

I. 調査概要

調査概要

1. 調査の目的

福岡市に在住する高齢者などの保健福祉に関するニーズ・意識などを把握することにより、「福岡市介護保険事業計画」の策定に必要な基礎的データを収集・分析するとともに、本市の高齢者福祉施策の向上に資することを目的とする。

2. 調査の概要

調査種別	調査対象者	発送日	回収期限
高齢者一般調査A	平成28年10月時点で福岡市内にお住まいの60歳以上の方		
高齢者一般調査B	平成28年10月時点で福岡市内にお住まいの60歳以上の方		
介護保険在宅サービス利用者調査	福岡市にお住まいの要支援・要介護認定者（第2号被保険者（40～64歳）を含む）のうち、平成28年8月中に介護保険の在宅サービスを利用した方		
介護保険在宅サービス未利用者調査	福岡市にお住まいの要支援・要介護認定者（第2号被保険者（40～64歳）を含む）のうち、平成28年8月中に介護保険の在宅サービスを利用しなかった方	平成29年 1月12日	平成29年 2月20日 郵送着まで
介護保険施設等サービス利用者調査	平成28年8月中に福岡市内の介護保険施設・グループホームに入所・入居されていた方（第2号被保険者（40～64歳）を含む）		
介護支援専門員調査	福岡市内の居宅介護支援事業所、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に所属している介護支援専門員		

3. 回収の結果

調査種別	配付数	回収数	回収率	有効回収数*	有効回収率
高齢者一般調査A	3,000	1,899	63.3%	1,897	63.2%
高齢者一般調査B	3,000	1,886	62.9%	1,886	62.9%
介護保険在宅サービス利用者調査	3,000	1,693	56.4%	1,684	56.1%
介護保険在宅サービス未利用者調査	3,000	1,598	53.3%	1,578	52.6%
介護保険施設等サービス利用者調査	1,500	1,018	67.9%	853	56.9%
介護支援専門員調査	1,458	1,010	69.3%	1,007	69.1%

*回収された調査票から白紙のものを除いた有効票のみを集計に使用している。

4. 資料の見方

- 1 : 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。それに伴い、比率の合計が 100% にならない場合がある。
- 2 : 比率は各質問での「回答数（無回答を含む）」を基数（Nまたはn）として（Nまたはn=100%として）算出している。
 $N = \text{回答全数} \text{ (有効回収数に等しい)}$
 $n = \text{該当数} \text{ (その質問を回答しなくてよい人を除いた数)}$
- 3 : 複数回答が可能な設問においても、比率算出の基数は「回答数」とし、該当する選択肢に○印をつけた方が全体から見て何%なのかという見方をした。したがって、各選択肢の比率の合計が 100% を超える場合がある。
- 4 : 表・グラフに示す回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。
- 5 : グラフ内の数値の単位はすべて%である。
- 6 : 2つ以上の選択肢を合計して表している比率は、各選択肢の割合を合計して算出している。
- 7 : 文中の選択肢の表記は「 」で行い、2つ以上のものを合計して表す選択肢は『 』としている。